

#### 4. 新人看護職員の教育担当者研修について

- (1) 新人看護職員の教育担当者研修の受講率は低く、研修機会の充実が望まれる。
- (2) 新人看護職員の教育担当者には、看護単位における研究の企画力が必要とされているが、実際の研修受講内容は異なっており、教育担当者に求められる教育計画の作成、実施等、教育計画の企画に関する研修の必要性がある。
- (3) 教育担当者の多くは、兼任であった。教育担当者研修の企画にあたっては、通常業務を実施しながら受講可能な研修機会とする必要がある。

#### F. 研究発表

未

#### G. 知的所有権の取得状況

なし

#### 文献

- 明石恵子, 中川雅子, 中西貴美子, 他 (2004): 看護職新規採用者の臨床能力の評価と能力開発に関する研究(1) 新卒看護師の臨床能力の修得状況, 三重看護学誌, 6, 137-148.
- 福井トシ子 (2009a): 新卒看護師の基本的看護技術習得状況に関する実態調査, 看護管理, 19(4), 254-261.
- 福井トシ子 (2009b): 【看護基礎教育で何を学ぶのか 卒後研修制度を見据えた再評価】 看護基礎教育と新卒看護師初期の教育を連動させるための試み-私立医科大学協会病院部会看護部長会議研究班の調査結果から, 看護展望, 34(6), 564-570.
- 福田敦子, 花岡澄代, 喜多淳子, 他 (2005): 病院に就職した新卒看護職者のリアリティショックの検討-潜在構造の分析を通して-, 神戸大学医学部保健学科紀要, 20, 35-45.
- 平賀愛美, 布施淳子 (2007a): 就職3カ月時の新卒看護師のリアリティショックの構成因子とその関連要因の検討, 日本看護研究学会雑誌, 30(1), 91-107.
- 平賀愛美, 布施淳子 (2007 b): 新卒看護師のリアリティショックとプリセプターからみた新卒看護師のリアリティショックに関する認識の相違, 日本看護研究学会雑誌, 30(1), 109-118.
- 飯島佐知子, 曾田陽子, 片岡純, 他 (2008): 看護師長による看護大学卒業生の看護技術達成度の評価, 愛知県立看護大学紀要, 14, 53-62.
- 厚生労働省 労省 (2003): 新たな看護のあり方に関する検討会報告書, 2009-10-06, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2003/03/s0324-16.html>.
- 厚生労働省 (2005): 医療安全の確保に向けた保健師助産師看護師法等のあり方に関する検討会まとめ (概要), 2009-10-06, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/11/s1124-5.html>
- 厚生労働省 (2007): 看護基礎教育の充実に係る検討会報告書, 2009-10-06, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/04/dl/s0420-13.pdf>
- 厚生労働省 (2007): 「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会」報告書, 2009-10-06, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2004/03/s0310-6.html>
- 厚生労働省 (2009) 看護基礎教育のあり方に関する懇談会 論点整理, 2009-10-06, <http://www.nurse.or.jp/home/kisokyouiku/pdf/ronten.pdf#search='看護基礎教育のあり方に関する懇談会 論点整理'>
- 厚生労働省 (2009): 看護の質の向上と確保に関する検討会 中間とりまとめ, 2009-10-06, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/03/dl/s0317-6a.pdf>
- 厚生労働省 (2009): 新人看護職員研修に関する検討会 中間まとめ, 2009-12-25, <http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/12/s1225-13.html>
- 久保公子, 上釜真須美, 竹下エミ子 (2009): 新卒看護師の感じる苦痛と離職を考える理由に関する

- 調査, 日本看護学会論文集: 看護管理, 39, 3-5.
- 水田真由美 (2004a): 新卒看護師の職場適応に関する研究 リアリティショックと回復に影響する要因, 日本看護研究学会雑誌, 27 (1), 91-99.
- 水田真由美 (2004b): 新卒看護師の職場適応に関する研究ーリアリティショックからの回復過程と回復を妨げる要因ー, 日本看護科学学会雑誌, 23(4), 41-50.
- 水田真由美, 上坂良子, 辻幸代, 他 (2004): 新卒看護師の精神健康度と離職願望, 和歌山県立医科大学看護短期大学部紀要, 7, 21-27.
- 永田美奈加, 佐々木理恵子, 大高恵美, 他 (2008): 新卒看護師の看護実践能力の実態と傾向ー本学卒業の新卒者の自己評価と上司による他者評価からー, 日本赤十字秋田短期大学紀要, 12, 21-30.
- 日本看護協会 (2002): 新卒看護師の「看護基本技術」に関する実態調査報告書.
- 日本看護協会 (2007): ニュースリリース「2006 年看護教育基礎調査」, 2009-10-05, <http://www.nurse.or.jp/home/opinion/newsrelease/2006pdf/20070227.pdf>
- 日本看護協会 (2010): 「2009 年 病院における看護職員需給状況調査」結果速報, 2010-03-30, <http://www.nurse.or.jp/home/opinion/press/2009pdf/0316sanko-2.pdf>
- 日本看護協会中央ナースセンター (2005): 2004 年新卒看護職員の早期離職等実態調査報告書.
- 大久保仁司, 平林志津保, 瀬川睦子 (2008): 新卒看護師が入職後 3 ヶ月までに感じるストレスと望まれる支援, 奈良県立医科大学医学部看護学科紀要, 4, 26-33.
- 大松真弓, 沖奉子, 深川直美 (2008): 新卒看護師の臨床実践能力評価の縦断的調査, 日本看護学会論文集: 看護管理, 38, 324-326.
- 小澤三枝子, 水野正之, 佐藤エキ子, 他 (2007): 新人看護職員研修の推進に関する研究, 国立看護大学校研究紀要 6(1), 3-9.
- 佐居由美, 松谷美和子, 平林優子, 他 (2007): 新卒看護師のリアリティショックの構造と教育プログラムのあり方, 聖路加看護学会誌, 11(1), 100-108.
- 佐藤エキ子 (2007): 新人看護研修を効果的にすすめるための方策, 平成 18 年度 厚生労働科学研究 (医療技術評価総合研究) 新人看護職員研修の推進に関する研究報告書, 55-56.
- 山田香, 南雲美代子 (2008): 新卒看護師の臨床現場における仕事内容の変化と学習過程, 山形保健医療研究, 11, 49-61.
- 山田美幸, 前田ひとみ, 津田紀子, 他 (2008): 新卒看護師の離職防止に向けた支援の検討ー就職 3 ヶ月の悩みと 6 ヶ月の困ったことの分析ー, 南九州看護研究誌, 6(1), 47-54.
- 柳田美喜子, 松本知子, 新田純子, 他 (2008): 新卒看護師の早期離職防止を勘案した教育・支援体制の検討 A 病院における調査結果から, 日本看護学会論文集: 看護管理, 38, 318-320.

# 資 料

— 新人看護職員研修に関する実態調査 —

この調査票は、施設管理者様にお答えいただく質問紙です。貴施設の職員研修についてお尋ねします。以下の質問について、該当する項目に○印を記入、( ) 内には具体的な記述をお願いします。

貴施設の概要について以下の質問にお答えください。

Q1 該当する施設種別の番号に○印を付けたうえ、病床数等をお答えください。

1. 病院	病院種別引 (該当種別に○印をつけてください)	1. 特定機能病院	2. 地域医療支援病院	3. 一般病院	4. その他
	許可病床数	( ) 床			
	稼働病床数	合計 ( ) 床			
	稼働病床数	内訳	一般病床 ( ) 床	療養病床 ( ) 床	精神病床 ( ) 床
			感染症病床 ( ) 床	結核病床 ( ) 床	
2. 診療所	稼働病床数	合計 ( ) 床			
		内訳	一般病床 ( ) 床	療養病床 ( ) 床	
3. 老人保健施設	入居定員数	( ) 人			

Q2 設置主体について、該当するものに○印をつけてください。

1. 国・国立病院機構など
2. 県・市町村・広域事務組合など
3. 公的病院
4. 社会保険関係団体
5. 医療法人
6. 社会福祉法人
7. その他の法人
8. その他 ( )

Q3 所在地 ( ) 都道府県

Q4 総職員数についてお書き下さい。

総職員数	内訳			
	医師	看護職員	その他の医療職員	事務職員
名	名	名	名	名

貴施設の職員研修についてお聞きたいです。  
Q5 貴施設の職員研修の方針についてお書きください。

Q6 職員研修の実施状況について職種毎に該当する項目を選択してください。(複数回答可)

1) 医師	1. 院内集合研修	2. OJT	3. 院外研修	4. 研修は実施していない
2) 看護職員	1. 院内集合研修	2. OJT	3. 院外研修	4. 研修は実施していない
3) その他の医療職員	1. 院内集合研修	2. OJT	3. 院外研修	4. 研修は実施していない
4) 事務職員	1. 院内集合研修	2. OJT	3. 院外研修	4. 研修は実施していない

\* OJT (on the job training) とは、職場において業務中、業務を通して、必要な知識・技術・態度などを指導し、習得させること。

Q7 医師の臨床研修を受け入れていますか。該当する項目を選択してください。

1. 受け入れている
2. 受け入れていない

Q8 職員研修のための準備状況についてお書きください。

1) 職員研修費は、総予算額の何パーセントですか。具体的な数値をお書きください。

\* 常勤職員の給与は含まない。

総予算のうち	職員研修費 ( ) %
うち、看護職員研修費 ( ) %	
うち、新人看護職員研修費 ( ) %	

2) 次の職種の一人あたりの職員研修費(年額)をお書きください。

1. 医師 ( ) 円
2. 看護職 ( ) 円
3. その他の医療職員 ( ) 円
4. 事務職員 ( ) 円

3) 職員研修のための時間は十分に確保できていますか。不足していると考えられる場合は、どの職種のための教育の時間が不足していると考えられているのか具体的に書きください。

1. 確保できている
2. 不足している



職種: ( )

内容: ( )

4) 職員研修のための人材は十分に確保されていますか。不足していると考えられる場合は、具体的にどのような人材が必要と考えられているかお書きください。

1. 確保できている      2. 不足している

[ ]

5) 職員研修のため設備・環境は十分に確保されていますか。不足していると考えられる場合は、具体的にどのようなものが不足していると考えられるかお書き下さい。

1. 確保できている      2. 不足している

[ ]

6) 職員の学習環境について、整備されているものを選択してください。(複数選択可)

1. 図書室 (施設内)      2. 図書室 (施設周辺)      3. インターネット環境  
 4. 研修室      5. 学習室      6. 演習室 (クリニカルラボなど)  
 7. その他 (具体的に書きください)

[ ]

Q 9 貴施設における新人看護職員研修についてお聞きします。

1) 貴施設における事業全体を 100 とした場合、新人看護職員研修専業が占める割合(エフォート)はどれくらいだとお考えられますか。数値をお書き下さい。

(                      ) %

2) 施設長として、ご自身は、新人看護職員研修に対して、どのように受け止めていますか。該当する番号に○印をつけてください。

	とてもそう思う ←				全くそう思わない →
a. 関心がある	4	3	2	1	1
b. 重要に思う	4	3	2	1	1
c. 負担に思う	4	3	2	1	1
d. 協力的である	4	3	2	1	1

3) 貴施設の職員は、新人看護職員研修に対して、どのように受け止めていますか。該当する番号に○印をつけてください。

	とてもそう思う ←				全くそう思わない →
a. 関心がある	4	3	2	1	1
b. 重要に思う	4	3	2	1	1
c. 負担に思う	4	3	2	1	1
d. 協力的である	4	3	2	1	1

4) 貴施設では、病院運営の最高意思決定権限のある会議で、新人看護職員研修についての議題を取り上げることがありますか。

1. ある      2. ない

Q10 新人看護職員研修が努力義務化されたことについてどのようにお考えですか。該当するものに○印をつけてください。また、努力義務化されたことで課題と感じていること、困っていること、また、期待することがあればお書きください。

1. 施設内で新人看護職員研修を積極的に取り組みたいと考えている  
 2. 業務整備の資金が確保できれば、施設で取り組みたいと考えている  
 3. 外部研修を考えている  
 4. その他

[ ]

[ ]

ご協力、ありがとうございました。

— 新人看護職員研修に関する実態調査 —

この調査票は、看護部長もしくは看護部における教育責任者様にお答えいただく質問紙です。本調査票という「新人看護職員研修」とは、新卒看護職員を対象とした研修を念頭としておりますが、新卒看護職員の採用がない場合は、新採用者の職員研修についてお答えください。  
以下の質問について、該当する項目に○印を記入、( )内には具体的に記述をお願いします。

貴施設の概要について以下の質問にお答えください。

Q 1 該当する病院種別に○印をつけ、病床数等をお答えください。

病院種別	(該当種別に○印をつけてください)			
	1. 特定機能病院	2. 地域医療支援病院	3. 一般病院	4. その他
許可病床数	( ) 床			
稼働病床数	合計 ( ) 床			
内訳	一般病床	療養病床	精神病床	感染症病床
	( ) 床	( ) 床	( ) 床	( ) 床
	結核病床	( ) 床		
	( ) 床	( ) 床		

Q 2 設置主体について、該当するものに○印をつけてください。

1. 国・国立病院機構等
2. 県・市町村・広域事務組合など
3. 公的病院
4. 社会保険関係団体
5. 医療法人
6. 社会福祉法人
7. その他の法人
8. その他 ( )

Q 3 所在地 ( ) 都道府県

Q 4 直近 (10月) の平均在院日数をお書きください。

施設全体	病床区分	
	一般病床	療養病床
日	日	日

Q 5 直近 (10月) の病床利用率をお書きください。

一般病床	精神病床	療養病床
%	%	%

Q 6 入院基本料区分について該当するものに○印をつけてください。

1. 7 対 1
2. 10 対 1
3. 13 対 1
4. 15 対 1
5. その他 ( )

Q 7 看護職員数についてお書きください。

1) 看護職員数(正規職員)を実数でお書き下さい。(2009年4月1日現在)

	看護師	保健師	助産師	准看護師
実数	名	名	名	名

2) 看護職員総数を常勤換算でお書きください。(2009年4月1日現在)

	看護師	保健師	助産師	准看護師
常勤換算	名	名	名	名

Q 8 看護職員の採用者数についてお書きください。

昨年度 (2008年4月1日現在)	看護師	助産師	保健師	( ) 名
内訳	新卒者数	名	名	名
	既卒者数	名	名	名
今年度 (2009年4月1日現在)	看護師	助産師	保健師	( ) 名
内訳	新卒者数	名	名	名
	既卒者数	名	名	名
来年度 (2010年度) の新採用予定数 ( ) 名				

Q 9 2008年度の看護職員退職者数についてお書きください。

2008年度の退職者数： 全体 ( ) 人 うち新卒 ( ) 人

Q 10 インシデント・アクシデント (ヒヤリハットを含む) 報告についてお答えください。

1) インシデント・アクシデントレポートをどの段階から報告書を書いていきますか。該当するものに○印をつけてください。

インシデント・アクシデントを報告する段階	
1. 間違ったことが患者に実施される前に気づいた場合	
2. 間違ったことが患者に実施されたが、患者に変化がなかった場合	
3. 間違ったことや事故により患者に変化が生じ、観察が必要となったが治療の必要がなかった場合	
4. 間違ったことや事故により治療が必要となった場合	

2) 2008年度のインシデント・アクシデント (ヒヤリハットを含む) 報告で、看護職員が書いた報告書数をお書きください。  
い。 ( ) 件

3) 2008年度、新人看護職員が書いたインシデント・アクシデント (ヒヤリハットを含む) 報告書数をお書きください。  
( ) 件

Q11 貴施設は、下記の新人看護職員研修推進事業に参加しましたか。該当するものに○をつけてください。


1. 新人看護職員臨床実践能力向上推進事業 新人看護職員研修
2. 新人看護職員臨床実践能力向上推進事業 教育担当者研修
3. 新人助産師臨床実践能力向上推進事業 新人助産師研修
4. 新人助産師臨床実践能力向上推進事業 産地指導者研修

貴施設の新人看護職員研修体制について以下の質問にお答えください。


Q12 新人看護職員研修のための準備状況についてお書きください。

1) 新人看護職員研修で活用できる物品・学習環境は十分に確保されていますか。

(1) 備品について

1. 十分に確保されている
2. 不足している  不足している物について具体的に教えてください
3. 準備していない

(2) 衛生材料等消耗品について

1. 十分に確保されている
2. 不足している  不足している物について具体的に教えてください
3. 準備していない

(3) 学習環境について

- a. 図書室 (院内) 1. 十分 2. 不足 3. ない
- b. 図書館 (施設周辺) 1. 十分 2. 不足 3. ない
- c. インターネット環境 1. 十分 2. 不足 3. ない
- d. 学習室 1. 十分 2. 不足 3. ない
- e. 研修室 1. 十分 2. 不足 3. ない

Q13 新人看護職員研修のプログラムについてお答え下さい。

- 1) 新人看護職員研修プログラムがありますか。
  - a. 1. ある
  - b. 2. ない ⇒ Q14へお進みください
- 2) プログラムの評価・見直しはどのくらい行っていますか。
  1. 毎年行っている 2. 2～3年に1回行っている 3. 4年以上行っていない

3) 新人看護職員研修にかかる時間数についてお答えください。

新人看護職員研修の期間：( ) 月 ( ) 日
うち、オリエンテーション期間：( ) 月 ( ) 日
研修の形態別内訳
a. 集合教育 ( ) 時間
b. 外部研修 ( ) 時間
c. ローテーション研修 ( ) 月 ⇒ ローテーションをする部署数 ( ) 部署

Q14 新人看護職員研修に関連する人員配置についてお書きください。

1) 看護部門における教育研修全体の責任者についてお答えください。

(1) 役職名 ( )

(2) 研修責任者の院内配置状況について、該当するものに○印をつけてください。

a. 専任	<input type="checkbox"/>
b. 兼任	<input type="checkbox"/>
c. 外部委託 (非常勤)	<input type="checkbox"/>
d. その他 ( )	<input type="checkbox"/>

2) 看護部門における新人看護職員研修プログラムの策定、企画および運営の担当についてお答えください。

(1) 委員会・役職名 ( )

(2) 院内配置状況(研修プログラム策定、企画及び運営の担当者、委員会構成メンバー)をお書きください。

担当者数	名
a. 専任	名
b. 兼任	名
c. 外部委託 (非常勤)	名
d. その他 ( )	名

(3) 兼任の方は、業務分担当上の配慮等がありますか。該当する項目に○印をつけてください。

1. 特に配慮していない (通常業務)
2. 業務内容の軽減
3. 配置部署の調整
4. その他(具体的に)お書きください

(4) 担当者の選考に当たり考慮していることがありますか。

経験年数	1. 考慮していない	2. 考慮している → (具体的に: )
個人の資質・看護実践能力	1. 考慮していない	2. 考慮している → (具体的に: )
研修等の受講	1. 考慮していない	2. 考慮している → (具体的に: )
学歴	1. 考慮していない	2. 考慮している → (具体的に: )
その他	(具体的に: )	

3) 看護単位で、新人研修の運営を中心となって行い、実地指導者への助言・指導を担当する方(教育担当者)に  
ついてお聞きします。

(1) 役職名 ( )

(2) 教育担当者の院内配置状況について、該当するものに○印をつけてください。

a. 専任	
b. 兼任	
c. 外部委託 (非常勤)	
d. その他 ( )	

(3) 兼任の場合、業務分担上の配慮等がありますか。該当する項目に○印をつけてください。

1. 特に配慮していない (通常業務)
2. 業務内容の軽減
3. 配置部署の調整
4. その他(具体的に)お書きください

(4) 教育担当者の選考にあたり考慮していることがありますか。

経験年数	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
個人の資質・ 看護実践能力	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
研修等の受講	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
学歴	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
その他	(具体的に)

4) 新人看護職員研修を担当する人材の確保について何か課題があればお書き下さい。

Q15 新人看護職員研修のための他施設との連携についてお聞きいたします。

1) 看護基礎教育機関(看護系大学・養成所等)との連携

1. している →具体的に
2. していない
3. 是非したい
4. 考えていない
5. 不要である

2) 看護協会(都道府県看護協会、支部も含む)との連携

1. している →具体的に
2. していない
3. 是非したい
4. 考えていない
5. 不要である

3) 地域の施設(近隣病院・有床診療所等)との連携

- (1) 地域の施設との連携について
  1. している →具体的に
  2. していない
  3. 是非したい
  4. 考えていない
  5. 不要である
- (2) 他施設の新人看護職員研修に新人看護職員を派遣したことがありますか。
  1. ある
  2. ない

(3) 派遣したことがあると答えた方にお聞きします。2008 年度の派遣状況についてお書き下さい。

派遣方法	1. 集合研修のみ	2. 部署配置	3. その他
派遣施設数	( ) 施設		
派遣した新人看護職員数	( ) 名		

(4) 他施設の新人看護職員研修に新人看護職員を派遣するにあたり、困ったことや配慮が必要であったことなどありましたら、具体的にお書きください。

(5) 他施設から新人看護職員研修を受け入れたことがありますか。

1. ある
2. ない

(6) あると答えた方にお聞きします。2008 年度の受け入れ状況についてお書き下さい。

受け入れ方法	1. 集合研修のみ	2. 部署配置	3. その他
受け入れ施設数	( ) 施設		
受け入れ人員数	( ) 名		

(7) 他施設から新人看護職員研修を受け入れるにあたり、困ったことや配慮が必要であったことなどありましたら、具体的にお書きください。

4) 新人看護職員研修の外部委託システムがあれば活用したいと思いますか。

1. ぜひ活用したい
2. 活用は考えていない
3. わからない



Q16 あなたの職場では、新人看護職員研修に対して、どのように受け止めていますか。該当する番号に○印をつけてください。

	とてもそう思う	←	→	全くそう思わない
関心がある	4	3	2	1
重要に思う	4	3	2	1
負担に思う	4	3	2	1
協力的である	4	3	2	1

貴施設の新人看護職員研修の内容についてお答えください。

下記の内容は、厚生労働省から示されている「新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導指針」に基づいたものです。これらの項目について、1)貴施設の研修方法、2)研修実施時期をご記入ください。

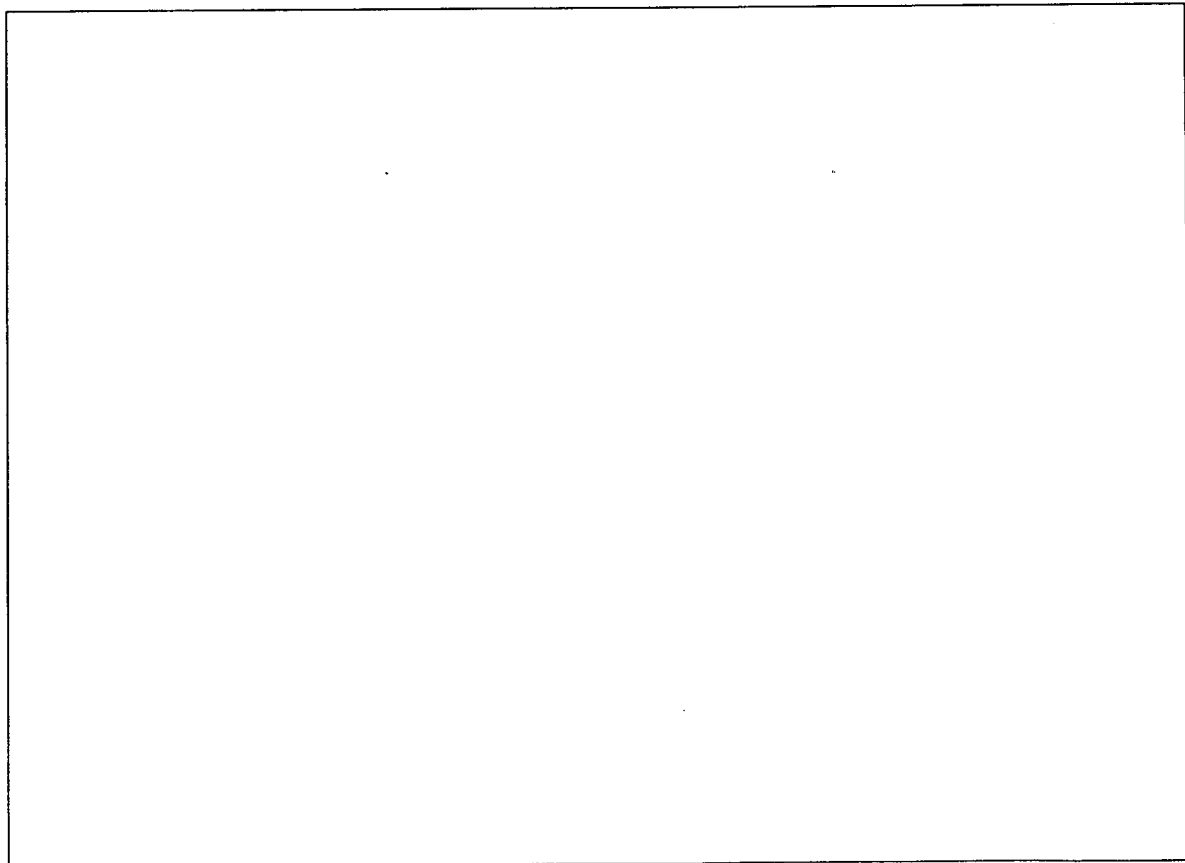
到達目標	1) 研修方法						2) 研修時期
	1	2	3	4	5	6	
看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標	1	2	3	4	5	6	月
看護職員としての自覚と責任ある行動	1	2	3	4	5	6	月
患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	1	2	3	4	5	6	月
組織における役割・心構えの理解と適切な行動	1	2	3	4	5	6	月
生涯にわたる主体的な自己学習の継続	1	2	3	4	5	6	月
看護技術についての到達目標							
環境調整技術							
①温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生活環境調整 (例：臥床患者、手術後の患者等の療養生活環境調整)	1	2	3	4	5	6	月
②ベッドメーカーキング (例：臥床患者のベッドメーカーキング)	1	2	3	4	5	6	月
食事援助技術							
①食生活支援	1	2	3	4	5	6	月
②食事介助 (例：臥床患者、嚥下障害のある患者の食事介助)	1	2	3	4	5	6	月
③経管栄養法	1	2	3	4	5	6	月
排泄援助技術							
①自然排尿・排便援助 (尿器・便器介助、可能な限りおむつを用いない援助を含む。)	1	2	3	4	5	6	月
②洗滌	1	2	3	4	5	6	月
③膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	1	2	3	4	5	6	月
④排便	1	2	3	4	5	6	月
⑤導尿	1	2	3	4	5	6	月

到達目標	1) 研修方法						2) 研修時期
	1	2	3	4	5	6	
活動・休息援助技術							
①歩行介助・移動の介助・移送	1	2	3	4	5	6	月
②体位変換 (例：①及び②について、手術後、麻痺等で活動に制限のある患者等への実施)	1	2	3	4	5	6	月
③関節可動域訓練・廃用性症候群予防	1	2	3	4	5	6	月
④入眠・睡眠への援助	1	2	3	4	5	6	月
⑤体動、移動に必要な患者への援助 (例：不穩、不動、情緒不安定、意識レベル低下、鎮静中、乳幼児、高齢者等への援助)	1	2	3	4	5	6	月
清潔・衣生活援助技術 (例：全介助を要する患者、ドレーン挿入、点滴を行っている患者等への実施)							
①清拭	1	2	3	4	5	6	月
②洗髪	1	2	3	4	5	6	月
③口腔ケア	1	2	3	4	5	6	月
④入浴介助	1	2	3	4	5	6	月
⑤部分浴・陰部ケア・おむつ交換	1	2	3	4	5	6	月
⑥寝衣交換等の衣生活支援、整容	1	2	3	4	5	6	月
呼吸・循環を整える技術							
①酸素吸入療法	1	2	3	4	5	6	月
②吸引 (気管内、口腔内、鼻腔内)	1	2	3	4	5	6	月
③ネブライザーの実施	1	2	3	4	5	6	月
④体温調整	1	2	3	4	5	6	月
⑤体位ドレーナージ	1	2	3	4	5	6	月
⑥人工呼吸器の管理	1	2	3	4	5	6	月
創傷管理技術							
①創傷処置	1	2	3	4	5	6	月
②褥瘡の予防	1	2	3	4	5	6	月
③包帯法	1	2	3	4	5	6	月

到達目標	1) 研修方法						2) 研修時期	
	1	2	3	4	5	6		
感染防止の技術	1	全体での集合研修						
	2	部署での集合研修						
	3	業務を通じた指導						
	4	他病院の研修に参加						
	5	看護協会等その他の研修						
	6	実施していない						
	①スタンダードプリコーション（標準予防策）の実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	②必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン等）の選択	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	③無菌操作の実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	④医療廃棄物規定に沿った適切な取り扱い	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑤針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑥洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	安全確保の技術							
	①誤薬防止の手順に沿った与薬	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	②患者誤認防止策の実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
③転倒転落防止策の実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
④薬剤・放射線曝露防止策の実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
看護技術を支える要素								
医療安全の確保医療安全の確保								
①安全確保対策の適用の判断と実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
②事故防止に向けたチーム医療に必要なコミュニケーション	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
③適切な感染管理に基づいた感染防止	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
患者及び家族への説明と助言								
①看護ケアに関する患者への十分な説明と患者の選択を支援するための働きかけ	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
②家族への配慮や助言	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
的確な判断と適切な看護技術の提供								
①科学的根拠（知識）と観察に基づいた看護技術の必要性の判断	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
②看護技術の正確な方法の熟知と実施によるリスクの予測	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
③患者の特性や状況に応じた看護技術の選択と応用	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
④患者にとって安楽な方法での看護技術の実施	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑤看護計画の立案と実施したケアの正確な記録と評価	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
看護実践における管理的側面についての到達目標								
安全管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
情報管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
業務管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
薬剤等の管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
災害・防災管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
物品管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
コスト管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	

到達目標	1) 研修方法						2) 研修時期	
	1	2	3	4	5	6		
与薬の技術	1	全体での集合研修						
	2	部署での集合研修						
	3	業務を通じた指導						
	4	他病院の研修に参加						
	5	看護協会等その他の研修						
	6	実施していない						
	①経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	②皮下注射、筋肉内注射、皮内注射	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	③静脈内注射、点滴静脈内注射	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	④中心静脈内注射の準備・介助・管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑤輸液ポンプの準備と管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑥輸血の準備、輸血中と輸血後の観察	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑦抗生物質の用法と副作用の観察	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑧インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
	⑨麻薬の主作用・副作用の観察	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
⑩薬剤等の管理（静薬・劇薬・麻薬、血液製剤を含む）	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
救命救急処置技術								
①意識レベルの把握	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
②気道確保	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
③人工呼吸	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
④閉鎖式心臓マッサージ	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑤気管挿管の準備と介助	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑥止血	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑦チームメンバーへの応援要請	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
症状・生体機能管理技術								
①バイタルサイン（呼吸・脈拍・体温・血圧）の観察と解釈	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
②身体計測	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
③静脈血採血と検体の取扱い	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
④動脈血採血の準備と検体の取扱い	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑤採尿・尿検査の方法と検体の取扱い	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑥血糖値測定と検体の取扱い	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑦心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
⑧パルスオキシメーターによる測定	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
苦痛の緩和・安楽確保の技術								
①安楽な体位の保持	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
②薬法等身体安楽促進ケア	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
③リラクゼーション	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	
④精神的安寧を保つための看護ケア	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月	

新人看護職員研修について、課題と感じていること、困っていること等お書きください。



看護単位の教育担当者様用

一 新人看護職員研修に関する実態調査

この調査票は、看護単位（病棟）において新人研修の運営を中心と行って行い、また実地指導者への助言及び指導等を行う立廻の教育担当者にお答えいただく質問紙です。本調査票でいう「新人看護職員研修」とは、新卒看護職員を対象とした研修を念頭としておりますが、新卒看護職員の採用がない場合は、新採用者の職員研修についてお答えください。

以下の質問について、該当する項目に○印を記入、( )内には具体的な記述をお願いいたします。

貴施設の概要について以下の質問にお答えください。

Q 1 病院種別と病床区分について、該当する項目を選択し、具体的な数値をご記入ください。

病院種別	(該当種別に○印をつけてください)			
	1. 特定機能病院	2. 地域医療支援病院	3. 一般病院	4. その他
許可病床数	( ) 床			
稼働病床数	合計 ( ) 床			
	内訳			
	一般病床 ( ) 床	療養病床 ( ) 床	精神病床 ( ) 床	感染症病床 ( ) 床
	結核病床 ( ) 床			

Q 2 設置主体について、該当するものに○印をつけてください。

1. 国・国立病院機構など
2. 県・市町村・広域事務組合など
3. 公的病院
4. 社会保険関係団体
5. 医療法人
6. 社会福祉法人
7. その他の法人
8. その他 ( )

Q 3 所在地 ( ) 都道府県

貴病棟の概要・異動状況についてお聞きます。

Q 4 あなたの病棟の病床数をお書きください。

( ) 床

Q 5 あなたの病棟の看護職員の配置数をお書きください。

1) 看護職員数(正規職員)を実数でお書き下さい。(2009年4月1日現在)

実数	看護師	保健師	助産師	准看護師
	名	名	名	名

2) 看護職員総数を常勤換算でお書きください。(2009年4月1日現在)

常勤換算	看護師	保健師	助産師	准看護師
	名	名	名	名

Q 6 2009年度のあなたの病棟における看護職員の採用者数についてお答えください。

- 1) 2009年度の新規採用者数 ( ) 名  
うち、新規採用でああなたの病棟の配属となった新人看護職員数 ( ) 名

Q 7 2008年度のあなたの病棟における退職者数についてお答えください。

- 1) あなたの病棟における昨年度の退職者数 ( ) 名  
うち、新人看護職員の退職者数 ( ) 名
- 2) 新人看護職員の退職理由をわかる範囲でお書き下さい。

	理 由
新人看護職員A	
新人看護職員B	
新人看護職員C	
新人看護職員D	
新人看護職員E	

3) あなたの病棟の看護職員のうち、2008年度の新人看護職員で1年以内にあなたの病棟から他の部署に異動した人数をお書きください。  
( ) 名

看護単位の教育担当者様用 (病院)	
	理 由
新人看護職員F	
新人看護職員G	

4) 2008年度の新人看護職員で1年以内にあなたの病棟から他の部署に異動した理由をわかる範囲でお書きください。

あなたの背景や役割についてお聞きいたします。

該当する項目に○印をつけ、( )内には具体的な内容を記入してください。

- Q 8 あなたの看護師としての経験年数 ( ) 年 ( ) 月
- Q 9 あなたの現施設での勤務経験年数 ( ) 年 ( ) 月
- Q 10 あなたの新人看護職員研修教育担当者としての従事年数 ( ) 年 ( ) 月
- Q 11 あなたの勤務体制について該当する項目に○印をおつけください。
1. 日勤のみ 2. 交代制勤務 3. その他 ( )

Q 12 あなたの職位についてお答えください

1. 看護単位の長 2. 主任・副看護師長 3. 看護師 (院内の教育委員)
4. 看護師 (病棟の教育担当) 5. 看護部門の長
6. その他 ( )

Q 13 あなたの新人看護職員の教育担当者としての配置状況についてお答えください。

1. 専任 2. 兼任
- 兼任と答えた方にお聞きします。業務分担当上の配慮等がありますか。該当する項目に○印をつけてください。
1. 特に配慮していない(通常業務) 2. 業務内容の軽減
3. その他 (具体的に書きください)

Q 14 新人看護職員の教育担当者を専任として配置する必要があると思いますか。それぞれ理由をお書き下さい。

1. 必要がある 2. 必要ない
- 理由

Q 15 新人看護職員の教育担当者 (病棟において新人研修の運営を中心となり、また実地指導者への助言及び指導等を行う者) に関する研修の受講についてお聞きします。

1) 新人看護職員研修に関する研修受講状況についてお書きください。

受講研修名	受講年	期間・時間	主催者等
			院内・院外 ( )
			院内・院外 ( )
			院内・院外 ( )
			院内・院外 ( )

2) 新人看護職員の教育担当者に関する研修を受講した方にお聞きします。

あなたが参加した教育担当者研修の内容について該当するものに○印をつけ、追加の内容がありましたら、具体的に書きください。

1. 新人看護師を取り巻く現状の理解 2. 教育に関する基本的な考え方
3. 専門職業人としての生涯教育の考え方 4. 指導者の役割 (新人看護師の理解)
5. 教育ニーズの把握 6. 教育目標の設定 7. 教育計画の作成 8. 教育計画の実施
9. 教育計画の評価とフィードバック 10. 指導者に求められる要件
11. その他 (具体的に書きください)

Q 16 新人看護職員の教育担当者に関する研修についてご要望等がありましたら、お書きください。

1) 研修内容について

2) 研修期間について

3) その他

あなたの病棟での新人看護職員研修体制についてお聞きいたします。

Q17 あなたの病棟での新人看護職員研修のための準備状況についてお書きください。

- 1) 新人看護職員研修のための予算が準備されていますか。  
 ) 円/新人1人あたり      2. いいえ
- 2) 新人看護職員研修を担当する人材の確保について何か課題があればお書き下さい。

[ ]

3) 新人看護職員研修で活用できる物品・学習環境等は十分に確保されていますか。

- (1) 備品について
1. 十分に確保されている
  2. 不足している (具体的に) お書きください
- (2) 衛生材料等消耗品について
1. 十分に確保されている
  2. 不足している (具体的に) お書きください

(3) 学習環境について

- |            |       |       |       |
|------------|-------|-------|-------|
| 図書室 (院内)   | 1. 十分 | 2. 不足 | 3. ない |
| 図書館 (施設周辺) | 1. 十分 | 2. 不足 | 3. ない |
| インターネット環境  | 1. 十分 | 2. 不足 | 3. ない |
| 学習室        | 1. 十分 | 2. 不足 | 3. ない |
| 研修室        | 1. 十分 | 2. 不足 | 3. ない |

4) あなたの病棟独自の新人看護職員研修プログラムがありますか。

1. ある
2. ない

5) 病棟独自の研修プログラムがあると答えられた方にお聞きます。プログラムの評価・見直しを行っていますか。該当するものに○印をつけてください。

1. 毎年行っている
2. 2~3年に1回行っている
3. 4年以上行っていない

Q18 新人看護職員研修のために実地指導を担当する人についてお聞きします。

1) 病棟内配置数についてお書きください。

病棟内配置数	名
a. 専任	名
b. 兼任	名
c. 外部委託 (非常勤)	名
d. その他 ( )	名

2) 兼任の場合、業務分担上の配慮等がありますか。該当する項目に○印をつけてください。

1. 特に配慮していない(通常業務)
2. 業務内容の軽減
3. その他 (具体的に) お書きください

[ ]

3) 新人看護職員研修の実地指導者の選考にあたり考慮していることがありますか。

経歴年数	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
個人の資質・看護実践能力	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
研修等の受講	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
学歴	1. 考慮していない 2. 考慮している → (具体的に: )
その他	(具体的に)

Q19 あなたの病棟の新人看護師の指導体制についてお聞きいたします。該当する指導体制の番号に○印をつけ、また、その実施時期についてお書きください。

【日勤の場合】

1 先導看護師について業務を免許する  
採用後( )日～( )日まで

2 機能別に処置やケアの一部を担当する  
採用後( )日～( )日まで

3 受け持ち患者  
先導看護師と一緒に患者を受け持つ  
採用後( )日～( )日まで

4 先導看護師が受け持っている患者の処置またはケアの一部を担当する  
受け持ち患者  
採用後( )日～( )日まで

5 先導看護師のサポートを受けながら、通常よりも少ない人数の患者を受け持つ  
受け持ち患者  
採用後( )日～( )日まで

6 先導看護師のサポートを受けながら、通常と同じ数の経症の患者を受け持つ  
受け持ち患者(経症)  
採用後( )日～( )日まで

7 先導看護師のサポートを受けながら、他の看護師と同様に患者を受け持つ  
受け持ち患者  
採用後( )日～( )日まで

8 通常よりも少ない人数の患者を受け持ち、必要に応じて自ら先導看護師のサポートを求める  
受け持ち患者(経症)  
採用後( )日～( )日まで

9 通常と同じ数の経症の患者を受け持ち、必要に応じて自ら先導看護師のサポートを求める  
受け持ち患者(経症)  
採用後( )日～( )日まで

10 他の看護師と同様に患者を受け持ち、必要に応じて自ら先導看護師のサポートを求める  
受け持ち患者  
採用後( )日～( )日まで

【夜勤の場合】

- 1) 新人看護師が夜間勤務を開始する時期は、いつ頃ですか。  
3 交代勤務の施設の場合 準夜勤務 ( ) 月頃～  
深夜勤務 ( ) 月頃～  
2 交代勤務の施設の場合 夜間勤務 ( ) 月頃～

2) 新人看護師の夜勤の指導体制について、以下の状況が該当する指導体制の番号に○印をつけ、また、その実施時期についてお書きください。

1 先導の夜勤時に新人看護師は免許する  
受け持ち患者  
夜勤( )回目；( )月まで

2 通常の夜勤人数にプラスで新人看護師が勤務し、可能なケアを授ける  
受け持ち患者  
夜勤( )回目；( )月まで

3 通常の夜勤人数にプラスで新人看護師が勤務し、少ない人数を受け持つ  
受け持ち患者  
夜勤( )回目；( )月まで

4 先導看護師のサポートを受けながら、通常の夜勤者の一員として、経症患者を受け持つ  
受け持ち患者(経症)  
夜勤( )回目；( )月まで

5 先導看護師のサポートを受けながら、通常の夜勤者の一員として、他の看護師と同様に患者を受け持つ  
受け持ち患者  
夜勤( )回目；( )月まで

6 通常の夜勤者の一員として、他の看護師と同様に患者を受け持ち、必要に応じて自ら先導看護師のサポートを求める  
受け持ち患者(経症)  
夜勤( )回目；( )月まで

7 通常の夜勤者の一員として、他の看護師と同様に患者を受け持ち、必要に応じて自ら先導看護師のサポートを求める  
受け持ち患者  
夜勤( )回目；( )月まで

Q20 新人看護師研修期間として設定されている期間をお答えください。  
病棟における新人看護師研修期間 採用後から ( ) か月間

Q21 あなたの病棟における新人研修期間終了時点で、新人に期待することは何ですか。該当するものに○印をつけてください。

到達目標	達成度
1 情報を収集し、アセスメントする	1 2
2 特定の患者の問題の明確化、看護診断	1 2
3 どのような介入を用いるかの選択	1 2
4 介入に対する患者の反応の評価	1 2
5 計画の修正	1 2
6 看護活動が効果的・効率的であったかの評価	1 2
7 病棟で一般的な（頻度の高い）看護技術を一通り体験する	1 2
8 病棟で一般的な（頻度の高い）看護技術を1人で実施する	1 2
9 一般的なガイドライン（基準・手順）に沿って業務をこなす	1 2
10 病棟のルーチン業務を1人で実施する	1 2
11 適切に患者に関する指示を受け、安全に間違いなく実施する	1 2
12 不確かなことを確認する	1 2
13 決められた時間を守って仕事をす	1 2
14 プライバシーに配慮して医療情報や記録物を取り扱う	1 2
15 繰り返し遭遇する重要な状況のパターンに気づく	1 2
16 複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行う	1 2
17 患者・家族との良好な人間関係を確立する	1 2
18 医療・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重する	1 2
19 同僚から信頼され、受け入れられる	1 2
20 同僚や他の医療従事者と適切なコミュニケーションをとる	1 2
21 適切な自己表現をする	1 2
22 業務上の連絡・報告・相談を行う	1 2
23 チーム医療の一員としての役割を理解し協働する	1 2
24 自分の健康管理と仕事を続けるための条件を整える	1 2
25 病院および看護部の理念や組織と機能を理解し行動する	1 2
26 配属部署のインフォーマルなルール、慣習などを理解し受け入れる	1 2
27 自己評価や他者評価をふまえた自己の学習課題がわかる	1 2
28 課題の解決に向けて自主的に行動する	1 2
29 看護職員としての自覚と責任ある行動をとる	1 2
30 学習の成果を看護実践に活用する	1 2
31 その他 ( )	1 2

Q22 あなたの病棟では、新人看護職員研修に対して、どのように受け止めていますか。該当する番号に○印をつけてください。

	とてもそう思う ←		→ 全くそう思わない	
関心がある	4	3	2	1
重要に思う	4	3	2	1
負担に思う	4	3	2	1
協力的である	4	3	2	1

Q23 他施設からの新人看護職員研修受け入れについてお聞きします。

- 1) 他施設から新人看護職員研修を受け入れたことがありますか。
  1. ある
  2. ない → Q24へお進みください
- 2) 2008年度の受け入れ状況についてお書き下さい。

受け入れ方法	1. 集合研修のみ	2. 部署配置	3. その他
受け入れ施設数	( ) 施設		
受け入れ人員数	( ) 名		

3) 他施設から新人看護職員研修を受け入れるにあたり、困ったことや配慮が必要であったことなどがありましたら、具体的に書きください。

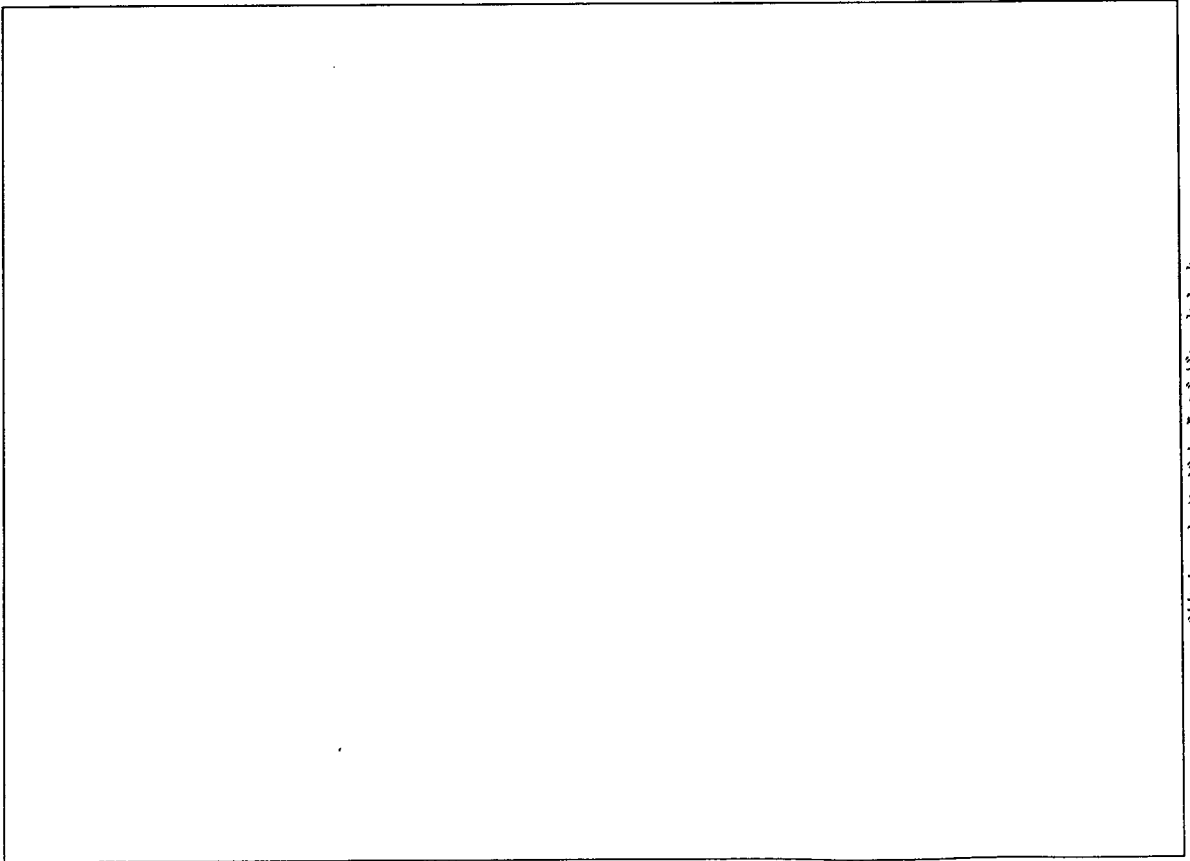
[ ]

Q24 あなたの病棟における新人看護職員の評価についてお聞きします。

評価方法	実施有無	評価時期	評価者
技術チェックリスト	有・無	( )月	自己・実地指導者・上司
ケースレポート	有・無	( )月	自己・実地指導者・上司
課題レポート	有・無	( )月	自己・実地指導者・上司
面接	有・無	( )月	自己・実地指導者・上司
目標管理	有・無	( )月	自己・実地指導者・上司
その他 ( )	有・無	( )月	自己・実地指導者・上司



新人看護職員研修について、課題と感じていること、困っていること等お書きください。



ご協力、ありがとうございました。

— 新人看護職員研修に関する実態調査 —

この調査票は、施設において新人看護職員研修の運営を中心と行って、また実地指導者への助言・指導等を行う立場の責任者にお答えいただく質問紙です。本調査票において「新人看護職員研修」とは、新卒看護職員を対象とした研修を念頭としておりますが、新卒看護職員の採用がない場合は、新採用者の職員研修についてお答えください。該当する項目に○印をつけ、( )内には具体的に記述をお願いします。

あなたの背景や役割についてお聞かせいたします。

- Q1 あなたの看護師としての経験年数 ( ) 年 ( ) 月
- Q2 あなたの現施設での勤務経験年数 ( ) 年 ( ) 月
- Q3 あなたの新人看護職員研修教育担当者としての従事年数 ( ) 年 ( ) 月
- Q4 あなたの勤務体制について該当する項目に○印をおつけください。  
 1. 日勤のみ 2. 交代制勤務 3. その他( )
- Q5 あなたの職位についてお答えください  
 1. 看護部門の長 2. 看護単位の長 3. 主任・副看護師長  
 4. 看護師(院内の教育委員) 5. その他( )

Q6 あなたの新人看護職員研修教育担当者としての役割について、該当するものに○印をおつけてください。(複数回答可)

看護部門における教育研修の責任者	
新人看護職員研修プログラムの策定、企画及び運営を担当する	
看護単位で新人研修の運営を中心と行って、実地指導者への助言および指導を担当する	
実地指導者	

貴施設の概要について以下の質問にお答えください。

Q7 該当する施設種別の番号に○印をつけ、病床数または入居定員をご記入ください。

1. 診療所	一般病床数 ( ) 床、療養病床数 ( ) 床
2. 老人保健施設	入居定員数 ( ) 人

Q8 設置主体について、該当するものに○印をおつけてください。

1. 国・国立病院機構など 2. 県・市町村・広域事務組合など 3. 公的病院  
 4. 社会保険関係団体 5. 医療法人 6. 社会福祉法人  
 7. その他の法人 8. その他( )

Q9 所在地 ( ) 都道府県

Q10 貴施設の看護職員数についてお書きください。

1) 看護職員数(正規職員)を実数でお書き下さい。(2009年4月1日現在)

実数	看護師	保健師	助産師	准看護師
	名	名	名	名

2) 看護職員総数を常勤換算でお書きください。(2009年4月1日現在)

常勤換算	看護師	保健師	助産師	准看護師
	名	名	名	名

Q11 採用者数についてお答えください。

昨年度 (2008年4月1日現在) の新採用者総数 ( ) 名					
内訳	看護師	助産師	保健師	准看護師	
新卒者数	名	名	名	名	名
既卒者数	名	名	名	名	名
今年度 (2009年4月1日現在) の新採用者総数 ( ) 名					
内訳	看護師	助産師	保健師	准看護師	
新卒者数	名	名	名	名	名
既卒者数	名	名	名	名	名
来年度 (2010年度) の新採用予定数 ( ) 名					

Q12 2008年度の看護職員退職者数についてお答えください。

- 1) あなたの施設における昨年度の退職者数 ( ) 名  
 うち新卒看護職員の退職者数 ( ) 名
- 2) 新卒看護職員の退職理由をわかる範囲でお書き下さい。

診療所・老人保健施設の看護管理者用	
	理由
新卒看護職員A	
新卒看護職員B	
新卒看護職員C	

Q13 インシデント・アクシデント（ヒヤリハットを含む）報告についてお答えください。

1) インシデント・アクシデントレポートをどの段階から報告書を書いていますか。該当するものに○印をつけてください。

インシデント・アクシデントを報告する段階
1. 間違っただけが患者に実施される前に気づいた場合
2. 間違っただけが患者に実施されたが、患者に変化がなかった場合
3. 間違っただけが患者により患者に変化が生じ、観察が必要となったが治療の必要がなかった場合
4. 間違っただけが患者により治療が必要となった場合

2) 2008年度のインシデント・アクシデント（ヒヤリハットを含む）報告で、看護職員が書いた報告書数をお書きください。

うち、新人看護職員が書いた報告数：（ ）件  
 （ ）件

貴施設の新人看護職員研修について以下の質問にお答えください。

Q14 新人看護職員研修のための準備状況についてお書きください。

1) 新人看護職員研修で活用できる物品・学習環境は十分に確保されていますか。

(1) 備品について

- 1. 十分に確保されている
- 2. 不足している  不足している物について具体的に書きください
- 3. 準備していない

(2) 衛生材料等消耗品について

- 1. 十分に確保されている
- 2. 不足している  不足している物について具体的に書きください
- 3. 準備していない

(3) 学習環境について

- a. 図書室（院内） 1. 十分 2. 不足 3. ない
- b. 図書館（施設周辺） 1. 十分 2. 不足 3. ない
- c. インターネット環境 1. 十分 2. 不足 3. ない
- d. 学習室 1. 十分 2. 不足 3. ない
- e. 研修室 1. 十分 2. 不足 3. ない

Q15 新人看護職員研修プログラムについてお答えください。

1) 新人看護職員研修プログラムがありますか。

- 1. ある
- 2. ない ⇒ Q16へお進みください

2) プログラムの評価・見直しはどのくらい行っていますか。

- 1. 毎年行っている
- 2. 2～3年に1回行っている
- 3. 4年以上行っていない

3) 新人看護職員研修にかかる時間数についてお答えください。

新人看護職員研修の期間：（ ）ヵ月

うち、オリエンテーション期間：（ ）日

研修の形態別内訳

- a. 集合教育（ ）時間
- b. 外部研修（ ）時間
- c. ローテーション研修（ ）ヵ月 ⇒ ローテーションをずらす部署数（ ）部署

Q16 新人看護職員研修に関連する人員配置についてお書きください。

	看護部門における 教育研修の責任者	新人看護職員研修 プログラムの策定、 企画、運営の担当者	新人看護職員の 実地指導者への助言 ・指導担当者	実地指導者
1) 役職名	名	名	名	名
2) 配置数	名	名	名	名
兼任	名	名	名	名
外部委託	名	名	名	名
その他	名	名	名	名
3) 兼任の場合の業務分担 上の配慮	1. 特に配慮していない（通常業務） 2. 業務内容の軽減 3. 配置部署の調整 4. その他	1. 特に配慮していない（通常業務） 2. 業務内容の軽減 3. 配置部署の調整 4. その他	1. 特に配慮していない（通常業務） 2. 業務内容の軽減 3. 配置部署の調整 4. その他	1. 特に配慮していない（通常業務） 2. 業務内容の軽減 3. 配置部署の調整 4. その他
4) 選考 要件	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している
・ 経験年数	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している
・ 個人の資質・ 看護実践能力	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している
・ 研修等の受講	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している
・ 学歴	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している
・ その他	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している	1. 考慮していない 2. 考慮している

Q17. 新人看護職員研修のための他施設との連携についてお聞きいたします。  
1) 看護基礎教育機関(看護系大学・養成所等)との連携

1. している → 具体的に {  
2. していない  
3. 是非したい  
4. 考えていない  
5. 不要である

2) 看護協会(都道府県看護協会、支部も含む)との連携

1. している → 具体的に {  
2. していない  
3. 是非したい  
4. 考えていない  
5. 不要である

3) 地域の施設(近隣病院・有床診療所等)との連携

- (1) 地域の施設との連携について  
1. している → 具体的に {  
2. していない  
3. 是非したい  
4. 考えていない  
5. 不要である

(2) 他施設の新人看護職員研修に新人看護職員を派遣したことがありますか。

1. ある 2. ない

(3) 派遣したことがあると答えたと答えた方にお聞きします。2008 年度の派遣状況についてお書き下さい。

派遣方法	1. 集合研修のみ	2. 部署配置	3. その他
派遣施設数	( ) 施設		
派遣した新人看護職員数	( ) 名		

(4) 他施設の新人看護職員研修に新人看護職員を派遣するにあたり、困ったことや配慮が必要であったことなどありましたら、具体的にお書きください。

{

(5) 他施設から新人看護職員研修を受け入れたことがありますか。

1. ある 2. ない

(6) あると答えたと答えた方にお聞きします。2008 年度の受け入れ状況についてお書き下さい。

受け入れ方法	1. 集合研修のみ	2. 部署配置	3. その他
受け入れ施設数	( ) 施設		
受け入れ人員数	( ) 名		

(7) 他施設から新人看護職員研修を受け入れるにあたり、困ったことや配慮が必要であったことなどありましたら、具体的にお書きください。

{

4) 新人看護職員研修の外部委託システムがあれば活用したいと思いませんか。

1. ぜひ活用したい 2. 活用は考えていない 3. わからない

貴施設の新人看護職員研修の内容についてお答えください。

Q18 下記の内容は厚生労働省から示された「新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導方針」に基づいたものです。これらの項目について、1) 貴施設の研修方法、2) 研修実施時期をご記入ください。

到達目標	1) 研修方法						2) 研修時期
	1	2	3	4	5	6	
看護職員として必要な基本姿勢と態度についての到達目標							
看護職員としての自覚と責任ある行動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
患者の理解と患者・家族との良好な人間関係の確立	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
組織における役割・心構えの理解と適切な行動	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
生涯にわたる主体的な自己学習の継続	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
看護技術についての到達目標							
環境調整技術							
① 温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備の療養生環境調整	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
② ベッドメーカーキング(例: 臥床患者のベッドメーカーキング)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
食事援助技術							
① 食生活支援	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
② 食事介助(例: 臥床患者、嚥下障害のある患者の食事介助)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
③ 経管栄養法	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
排泄援助技術							
① 自然排尿・排便援助(尿器・便器介助、可能な限りおむつを用いない援助を含む。)	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
② 浣腸	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
③ 膀胱内留置カテーテルの挿入と管理	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
④ 簡便	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月
⑤ 導尿	1.	2.	3.	4.	5.	6.	月